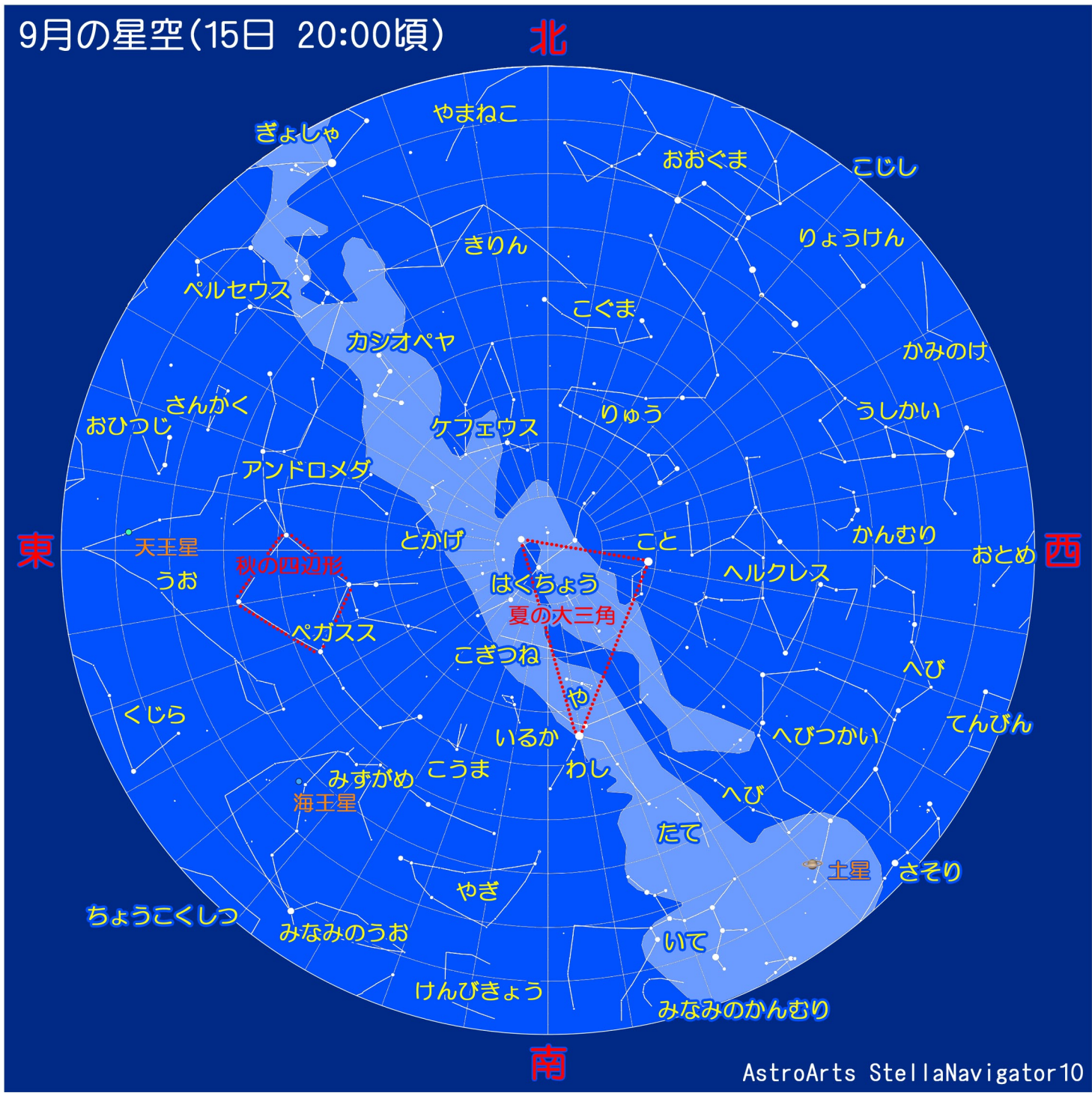


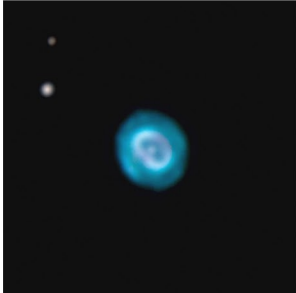


今日のイチオシ！

☆NGC7662 (惑星状星雲)

アンドロメダ座にある惑星状星雲で、「青い雪玉」という愛称で呼ばれています。名前の通り綺麗な青色が印象的な惑星状星雲で、りくり望遠鏡では、中心部がやや暗くなっている様子も観察できます。愛称の「青い雪玉」ですが、しばしば「青い雪だるま」という表記を見かけます。英語での愛称が「Blue Snowball Nebula」ですから、「雪だるま」は誤訳で「雪玉」が正解でしょう。

距離：約2000～6000光年



NGC7662

月

出 没

6日 満月 17:58 04:27

13日 下弦 22:15 12:23

20日 新月 04:42 17:42

28日 上弦 12:36 22:22

天文台から月を見ることができるのは 1～9日頃と22～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

海王星

太陽系で一番外側を回る惑星、海王星が9月5日に衝を迎え、見頃となっています。遠いためにあまり大きくは見えませんが、直径は地球の約4倍もあります。うっすら青色に見えるのが印象的です。

太陽からの距離：約45億km

M31 (銀河)

有名なアンドロメダ銀河です。肉眼でも見ることができます。りくり望遠鏡では視野からはみ出してしまうほど大きく、全体を見るのならば、双眼鏡を使うのが良いでしょう。

距離：約230万光年

M15 (球状星団)

秋を代表する球状星団でちょうどペガサス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で、望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

h-χ (散開星団)

ペルセウス座にある並んだ二つの散開星団で、エイチ-カイと読みます。西側の星団がhで、東側の星団がχとなります。

明るく目立つ星団なのですが、なぜかメシエ天体には選ばれていません。

距離：約7500光年

M27 (惑星状星雲)

はくちょう座とわし座の間あたり、こぎつね座にある惑星状星雲です。望遠鏡で見た姿が鉄あれいのような形をしていることから「あれい状星雲」と呼ばれています。

距離：約820光年

アルマク (重星)

色違いの重星では、はくちょう座のアルビレオが有名ですが、このアルマクも負けてはいません。オレンジ色と青色の星が寄り添う姿がとても綺麗です。

距離：約394光年

ちょっとマニア

・M32、M110 (銀河)

ともにM31アンドロメダ銀河の伴銀河で、M31の南にあるのがM32、北にあるのがM110です。15cm双眼鏡では、M31と同じ視野に見ることが出来るので、2つの伴銀河を探してみましょう。

距離：約230万光年

その他おすすめ

- 土星 (惑星)
- M2 (球状星団)
- M13 (球状星団)
- M57 (惑星状星雲)
- NGC7293 (惑星状星雲)
- アルビレオ (重星)

9・10月の銀河の森天文台カレンダー

9月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

開館時間

14:00～22:30
(4月～9月)

13:00～21:30
(10月～3月)

休館日